

令和3年度の総合戦略主要施策について

【市評価の方法】

各担当課において、事業内容・規模等の下段に事業実績を、達成値に目標項目の達成値を、評価は次のA～Dの基準で判定し記入する。  
 A:達成率100%以上(地方創生に非常に効果的であった) B:達成率50～99%(地方創生に効果があった) C:達成率1～49%(地方創生の効果が低かった) D:達成率0%または事業未実施(地方創生の効果がなかった)

重点戦略1	対馬ならではの雇用・なりわいを創る！	重要業績評価指標 (KPI)	項目	平成30年度末	令和7年度末目標	令和3年度末実績	達成率	備考
			新規創業件数	35件(1期5か年累計)	42件(6か年累計)【年間7件】	4件【年間2件】	9.5%	
			総合戦略各種事業による新規雇用者数	年間87名	年間90名	41名	35.6%	
			Uターン者の就業者数	-	年間20名	5名	20.0%	
			高卒就労者の地元就職率	36.70%	50.00%	39.34%	114.8%	就職者数:61名 うち島内就職:35名

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		令和3年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
特定有人国境離島雇用機会拡充支援事業	特定有人国境離島地域において、新規創業や事業拡大を行う個人及び事業者に対し、設備導入や人件費等の費用を助成し、雇用の拡充を後押しする。	地域社会維持推進交付金	しまの力創生課	週20時間以上の雇用を伴う創業または事業拡大を行う者に対して事業費の一部を支援します。 補助率:3/4 創業:上限450万円 事業拡大(設備投資有り):上限1,200万円 事業拡大(設備投資無し):上限900万円	計30事業者に対し補助金を交付。40名の雇用増。 島外事業者説明会開催	新規創業件数	3件	2件(66.7%)	B	B	本事業による雇用は増加しているが、逆に雇用者が減少している事業者もあるのでは、可能であればどの業界から転職してきたか把握されたい。	
					2回の公募により、計30事業者に対し補助金を交付。40名の雇用増 公募に合わせ、福岡市内で島外事業者向け説明会を実施。	新規雇用者数	20人	40人(200%)				
						うちUターン者	5人	4人(80%)				
創業等支援事業	市内における新規創業や新分野への取組に対する支援及び各種セミナー及びハンズオン支援の実施など、域内での新たな創業を後押しする。	創業準備セミナー	しまの力創生課	創業を行う上で必要な知識を学び、自身の持つビジネスプランを事業化するための個別指導を行う。	セミナー(2回)開催	新規創業件数	1件	1件(100%)	B	B	「セミナー開催数」だけではなく、参加者数も把握されたい。 セミナーのオンライン開催も検討されたい。	創業支援や雇用機会拡充についても補助終了後の追跡調査を行ってほしい。事業の効果があつたかは終了後の方が大事。
					地域資源活用・創業準備セミナー:1回開催	新規雇用者数	1人	1人(100%)				
		創業等支援事業補助金	創業や新商品の開発、販路拡大等に取り組みられる方に補助金を交付し支援します。	事業拡大応援事業、創業応援事業、人材育成応援事業を実施	うちUターン者	1人	1人(100%)					
				創業等補助金交付:1件 人材育成支援事業補助金交付:2件	セミナー開催数	2回	1回(50%)	支援事業者数(年間)				
既存事業者フォローアップ事業	第1期総合戦略での事業により新規創業及び事業拡大を行った事業者等に対し、必要に応じ、経営状況の確認やアドバイザーの派遣、ハンズオン支援等により継続した取組みとなるようフォローアップする。	既存事業者フォローアップ事業	しまの力創生課	これまで起業や事業拡大を支援した事業者を中心にアドバイザー派遣等によるハンズオン支援を実施する。また、事業者と求職者のマッチングの機会を提供する。	アドバイザー派遣、就職等相談会の開催	アドバイザー派遣件数	3件	2件(66.7%)	B	B	事業者がフォローアップを受けてどう感じているアンケートなどをとれば今後様々な施策に反映できるのでは。	
					雇用拡充支援事業採択事業者を中心に64事業者に訪問のうえフォローアップを実施	支援事業者数	5社	64社(1,280%)				
		観光アドバイザー派遣事業	観光商工課	地元と観光産業関係者【宿泊施設、飲食店等】を対象におもてなしのスキルアップのため、アドバイザーを派遣する。	観光に係る地元受け入れ事業者に対する観光アドバイザー派遣	就職等相談会開催数	5回	3回(60%)				
特定有人国境離島漁村支援交付金	特定有人国境離島地域の漁業集落が行う雇用機会の拡充を図るための取組を支援する。	特定有人国境離島漁村支援交付金	水産課	(1)新たな漁業又は海業に取り組む者、あるいは漁業又は海業の事業規模の拡大を行う者を漁業集落が支援する場合に要する一定の経費を支援します。 (2)漁業集落が雇用を創出するための取組を進める上で基盤となる良好な集落環境を整備するのに要する一定の経費を支援します。	左記(1)取組集落数:10集落20事業者	新規創業件数	5件	0件(0%)	D	C	施策の目標について、新規創業件数に対して、うちUターン者ではわかりづらい、一つ項目を増やして、新規雇用者、うちUターン者としてはどうか。	
					交付:20件(全てR2以前からの事業継続分) 交付金総額 123,616千円	うちUターン者	4人	0人(0%)				
企業誘致奨励事業	コールセンター、宿泊施設等、研究機関など、若い女性が働ける場、若い方が求める職種を基本とした企業誘致を強力に推進し、若者のニーズにあった雇用の機会を提供していく。	企業誘致事業	観光商工課	国内の企業に対して、対馬の産業との相乗効果をもたらす企業の対馬進出を促すために往訪活動を行う。	東京1回	訪問企業数	5社	1社(20%)	C	C	議会も一緒になって取り組んでいかなければいけないところである。力を入れたい。攻めの気持ちで。	
					企業誘致事業:訪問企業0社(新型コロナウイルス感染症に伴うまん延防止措置等による移動制限のため)	企業誘致数	1社	0社(0%)				
		企業誘致事業(奨励金)	事業者の雇用に応じて、雇用奨励金を支出し、雇用の維持、拡大を奨励します。	対象企業2社 正社員×5人、非常勤×7人	新規雇用者数	10人	0人(0%)					
				対象企業なし								
第1次産業プラス副業による所得向上支援事業	農林水産業従事者等の所得向上及びUターン者の生活の安定のため、第1次産業プラス副業を行う者を対象に初期段階での取組みに対し、一定の支援を行う。	制度設計	政策企画課 他関係部局	令和2年度または令和3年度の早い段階で制度を構築する。	関係部局との協議、制度設計	制度設計のためのPT開催回数	3回	1回(33.3%)	C	C		
					課内にて本事業の目的や流れ等を確認するとともに、他地域事例の調査や参画いただく関係部署の検討及び事業開始までの体制等について協議・検討を行った。令和3年度に制度構築を目指したが、制度構築まで至らなかった。	事業制度の構築	R4から実施	未実施(R5から実施)				



重点戦略2の続き

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		令和3年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
大学関係プロジェクト	明治大学自動運転社会総合研究所等との連携により、少子高齢化、過疎化が進んだ地域における自動運転技術利用の可能性や有効性を実証実験し、自動運転バスの実装など、持続可能な公共交通体系を目指す。	自動運転バス等実証実験事業	しまの力創生課	公道における自動運転技術の実装化に向け、各関係機関との調整や市内の状況を調査したうえで市内での実証路線の選定を行い実証実験を行う。	大学・産業団体等との検討、協議 ・各種手続きと手続きのマニュアル化選定路線による実証実験の回復 ・実験結果の検証 ・自動運転実装に向けたとりまとめ ・MaaS及びそれに付帯したサービスシステムの構築 毎週約2回 オンラインでの会議開催 自動運転テスト走行 令和3年12月実施	自動運転バス実証実験路線数	2路線	1路線 (50%)	C	C	計画の継続で実施しており、規制緩和が進まず、メリットが見つかからない。方向性を再検討する必要がある。	日本の自動運転のレベルは低いと聞いた。市が負担してやるべきかの見極めは必要。
中対馬アクションプラン推進事業	烏帽子岳、和多都美神社等の観光資源を有しながら、現在、観光客の通過地となっている対馬中地区において、各種体験メニューと宿泊施設の充実を図ることによって中対馬地域の活性化を図る。	中対馬アクションプラン推進事業	中対馬振興部	本地域は和多都美神社や風光明媚な原風景、日本有数の自然海岸延長を誇る浅茅湾を一望できる烏帽子岳等様々な歴史、観光資源を有しているが、現状、対馬北部と南部を結ぶ通過地に留まっていることから宿泊機能、体験メニュー等の拡充により、観光客の滞留時間を拡大し、地元消費を促すことで地域の活性化を図る。	最終年度は、交次年度以降、自立した事業を展開できるよう、観光客のニーズと収益性を考慮した料金体系等を確立する。 シーカヤックインストラクター養成 SUPインストラクター養成 対馬スイーツ料理教室 DIY教室事業 青海の花畑スポット整備 中対馬地域情報PR事業(交通広告) 光を活用した観光地PR事業(青海、木坂、和多都美) 中対馬観光パンフレット作製委託	神話の里自然公園 キャンプ場利用者数	3,835人	0人 (0%)	C	C	この指標では目標達成できない。国内外の観光客が安心して利用できるような他とは区別してもらえない感染症に必要な設備があるのではないかと、島民の利用者拡大も検討すべきではないか、指標の検討が必要。	
					各種体験事業 利用人数	100人	46人 (46%)					
					神話の里自然公園に2人用コテージを2棟を建設(R2からの繰越)	韓国人観光客数	414,982人	0人 (0%)				
交流人口拡大推進事業	対馬の観光情報発信、宿泊施設機能向上、インバウンド対策、おもてなしセミナー、ガイド人材育成等、国内外PR及び受け入れ体制整備等、複数の事業を一体的に実施することで、交流人口の拡大を図る。	交流人口拡大推進事業	観光商工課	韓国人観光客の激減、コロナ感染症の影響により減少の一途をたどる国内外観光客等交流人口の拡大のため、受け入れ体制の整備をはじめ、東アジア圏を中心とした誘客活動、福岡、東京等都市部からの国内客誘致に向け、一体的な取組を行う。	対馬の観光情報発信、宿泊施設機能向上、インバウンド対策、おもてなしセミナー、ガイド人材育成等、国内外PR及び受け入れ体制整備等、複数の事業を一体的に実施することで、交流人口の拡大を図る。	おもてなしセミナー開催回数	3回	3回 (100%)	B	B		
					おもてなしセミナー参加者数	90人	50人 (55.6%)					
					事業者間ワークショップ開催:8回、セミナーの開催:3回、おもてなし向上・しま旅事業制度・TEAM NAGASAKI SAFETY事業(コロナ対策認証店制度)、観光満足度調査の実施:回答者1,051人、参画事業者85社、ガイド養成講座の実施:16回(オンライン開催含む)、ガイド用ハンドブックの制作:200部、「長崎しま旅」による実績:4,457人泊	ガイド人材養成数	15人	5人 (33.3%)				
					国内客誘客数	140,000人	103,474人 (73.9%)					
国外客誘客数	150,000人	0人 (0%)										
対馬博物館建設事業	対馬の歴史・文化・交流の拠点として、対馬を代表する歴史的文化遺産を保全するとともに、他の郷土館や史跡、観光地との連動により観光振興と地域振興を目指す。	対馬博物館建設事業	博物館学芸課	令和3年度の開館に向け、周知PR、特別展の企画等を行う。	PRイベントの開催、特別展の内容検討、開館に向けた各種準備を行う。	イベント開催数	2回	1回 (50%)	B	B		
					博物館開館準備講演会として自然史講演会を開催(7月31日)、豊玉文化会館会場31名、Web視聴39名	入場者数	R4より	-				
						特別展開催数	R4より	-				
対馬博物館文化財魅力発信事業	令和2年度の博物館開館にあわせ、北部九州地域や関西、東京圏へのPR、メディア等を活用した情報発信等を実施する。	対馬博物館文化財魅力発信事業	博物館学芸課	令和2年度の博物館開館にあわせ、北部九州地域や関西、東京圏へのPR、メディア等を活用した情報発信等を実施する。	都市部や全国博物館と連携したPR活動、国外へのPR活動、HPの開設等による情報発信	PR件数(国内向け)	5件	0件 (0%)	C	C		
					新型コロナウイルス感染拡大により、国内外でのPR活動の実施を中止し、公式ウェブサイト及びSNSで情報発信。公式SNS(Facebook・Instagram)での情報発信回数は96回。	PR件数(国外向け)	2件	0件 (0%)				
						情報発信(HPの開設)	18,000回	54,539回 (303%)				

重点戦略3	安心して結婚・出産・子育てができる環境を創る！	重要業績評価指標 (KPI)	項目	平成30年度末	令和7年度末目標	令和3年度末実績	達成率	備考
			合計特殊出生率	2.18人	2.40人	1.88人	78.3%	
重点戦略4	高齢者が健康で生きがいを感じられる環境を創る！	重要業績評価指標 (KPI)	子育て支援に対する市民満足度	40.2%【就学児】 42.8%【未就学児】	60.00%	24%【就学児】 22%【未就学児】	40% 36.7%	
			本戦略事業による婚姻数	3組	年間5組【累計30組】	0組	0.0%	
			待機児童数(年間を通じ)	8人(年度中途の時点)	常時0人	8人	-	年度途中で発生
			シルバー人材センター登録者数及び延べ業務日数	127人 2,625日	200人 5,000日	168人 4,509日	84% 90.2%	

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		令和3年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
幼児教育・保育の無償化事業	幼児教育の負担軽減を図る少子化対策と、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性を鑑みて実施する。	幼児教育・保育の無償化事業	こども未来課 教育委員会 政策企画課	幼児教育の負担軽減を図る少子化対策と、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性を鑑み、幼稚園・保育所・こども園等を利用する3歳から5歳までの全ての子ども並びに住民税非課税世帯を対象に0歳から2歳児までの子どもの保育料を無償化する。	通年(随時)	市民満足度	- (R3に実施)	24%【就学児】 22%【未就学児】	C	C	子育てアンケートはアンケートを取るだけで終わらず、結果を施策に反映することで子育て満足度が上がるのでは、アンケートは無償化に対する満足度も項目に入れてみては、	
					通年(随時)実施	待機児童数	常時0人	8人				
対馬3高校の特性にあった文化・スポーツ指導者招聘事業  【重点戦略2と重複】 再掲事業	中学生までの段階で特にスポーツ【陸上、野球等】で好成績を残している生徒が、中学校卒業後、より高い環境を求め島外の強豪校に推薦等で進学しており、これが島内高校進学率の低さにつながっている。また、吹奏楽等の文化部門においても、同様のことがいえることから、県立高校であり、市の関与は難しいものの市が雇用する形で3校の特色に応じ、ひとつの分野に絞った指導者の招聘を推進する。	庁内関係部局PT	政策企画課	3高校への招へい分野の意向、県教委との調整、招聘の方法、財源措置等について、庁内関係部局において、協議及び共有する。	対馬3高校の重点スポーツ分野の指導者招聘 対馬市高校魅力化推進懇話会による進捗管理 R3年度までに制度、候補者の選定、3高校の重点分野を決定	3高校他関係機関との調整	調整完了	調整完了 (100%)	C	C	R7の最終結果で評価すべきでは、高校ごとに指導者を招聘するのは、市に招聘し、小中高と連携して事業を展開してはどうか、地元の指導者候補を育てることも考えてほしい。高校への進学率を考えると、分業の意向は高校だけではなく保護者や中学校にも聞くべき、市内の各競技等の連盟とも連携すべき。	
					3高校との協議実施、部内及び市長、副市長協議を複数回開催							
		年間通じ、実施。(人財発掘のための委託も含め検討) R4年度以降各高校に1名の配置	懇話会開催回数	2回	0回 (0%)							
		県教委との協議実施、長崎県管内公立高校の指導者状況調査実施、陸上、野球分野のヒアリング実施、1高校の分野決定				懇話会開催:年2回程度	未開催					
地元事業者への働き方改革推進事業	出産、子育てがしやすい環境を民間企業にも推進していただくため、各種制度の実施に応じ、認定・表彰制度を検討する。	地元事業者への働き方改革推進事業	政策企画課 総務課 保険課 等	島内企業における職場環境の改善により、働きやすい環境推進のため、各種認定・表彰制度等を構築する。  関係各課との会議を実施。制度開始に向けて最終調整中	制度概要の検討、決定	制度設計完了	未完了 (0%)	D	D			
					事業者への周知・取組み	HP、市報、TVにて実施	未実施 (0%)					
					認定事業者数(仮)	R4より実施	-					
					各種表彰件数(仮)	R4より実施	-					
縁結びプロジェクト事業	社会福祉協議会や商工会青年部等との連携により、市内男女の未婚・晩婚化対策のため、出会いの場創出から交際、結婚までのフォローアップを実施する。	つしま縁結びプロジェクト事業	地域づくり課	婚活イベントを実施する団体や協力者とともに実行委員会を構成し、イベント実施や個別カウンセリングにより、出会いの場の提供から成婚へと繋げる。	婚活イベント、個別カウンセリングの実施	イベント開催数	3回	0回 (0%)	C	B	婚姻組数実績が1組となっているが、もっているはず、成婚にはいたっていないが、本事業参加者で対馬を気に入り、移住者となった方もいる。コロナ禍で実施できなかった部分はあるが、事業としてはやれることを工夫してやっており、効果は出ている。	
					少人数イベントや個別お見合い、女性向けのセミナー(スキンケア・メイクレッスン)などの実施	イベント参加者数	80人	0人 (0%)				
					対馬の魅力発信動画の作成	カップル成立数	20組	0組 (0%)				
					令和3年度中に1組のカップルが結婚したが、そのうち1名は過去のイベント参加者で、個別引き合わせて成婚に至った。その他、SNSで縁結びプロジェクトの周知を行うとともに、会員へはアドバイザーによる電話、メール等での通年型のサポートを実施した。	婚姻組数	3組	1組 (33.3%)				
対馬市シルバー人材センター活用事業	全島組織化したシルバー人材センターを拠点に労働力確保、高齢者の生きがいづくりを推進する。	対馬市シルバー人材センター活用事業	福祉課	働く意欲を持っている高齢者のために、その知識、経験、希望に沿った補助的、短期的な就業の機会を確保し、高齢者の生きがいとその能力を増進し、地域社会づくりに寄与することを目的に「対馬市シルバー人材センター」を運営、組織強化を図る。  対馬市シルバー人材センター就業内訳: ・官庁受託業務(公園、観光施設等の清掃管理業務、日常清掃業務等) ・民間受託業務(除草、清掃、剪定、軽微な大作業や左官作業、襖・障子の張替え等)	会員数	170人	168人 (98.8%)	B	B	登録会員になっても出勤しない方がいると聞いている。会員の実働人数を目標にしては、		
					年間延べ業務日数	4,600日	4,509日 (98.0%)					
					センターの法人化	R7迄に						

重点戦略3・4の続き

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		令和3年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
地域包括ケアシステム推進事業 (小さな拠点形成も含まれる)	「対馬における地域包括ケアシステムのあり方について」の提言内容を基本に、「医療」、「介護」、「生活支援」、「予防」、「住まい」の5つの柱毎の施策を推進する。 【主な内容】 (医療)病院と診療所間で最新の診療情報を相互に閲覧できる環境整備や医療人材の確保等 (介護)デイサービス、ショートステイ整備の拡充及び人材確保等 (生活支援)見守り、買い物支援、交通支援、ボランティア人材の拡充等	コミュニティバス実証運行	地域づくり課	コミュニティバスの運行と検証を実施する。	地域主体によるコミュニティバスの運行と検証 コミュニティバスの利用者 田ノ浜・樫滝線 309人、田ノ浜・越高線 53人	コミュニティバス年間延べ利用者数	900人	610人 (67.8%)	B	B		
		地域の困りごと解消実証事業		コミュニティバス運行の空き時間を活用し、バス車両を活用した地域の困りごと解消に向けた実証事業(買い物支援等)を検討、実施する。	買い物支援等実証事業、運行協議会と先進地視察を実施 田ノ浜・佐賀線(買い物支援)の利用者 248人							
		認知症支援体制推進事業	地域包括ケア推進課	認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に関する理解者を増やし、認知症になっても暮らしやすい街を作る。	認知症サポーター養成講座の実施 10回 認知症サポーター養成講座の実施 2回	認知症サポーター登録者数	200人	26人 (13%)				
		地域包括ケアシステムに関するセミナー開催		地域包括ケアシステムの推進を図るために、市職員向けのセミナーや、市民向けのセミナーを開催する。	地域包括ケアシステムに関するセミナー開催 地域包括ケアシステムに関するセミナー開催	セミナー開催数	3回	3回 (100%)				
		一体的介護予防のための人材事業	地域包括ケア推進課 いきいき健康課 保険課	保健事業で行っていた疾病予防・重症化予防と併せて、介護予防も一体的に実施し、高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施する。	一体的介護予防のための人材の配置 一体的介護予防のための人材の配置	一体的介護予防のための人材確保数	6人	6人 (100%)				
		医療介護連携事業	地域包括ケア推進課	医療介護の関係機関が連携して包括的かつ継続的な在宅医療介護の提供を行うために、関係機関が連携し多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築する。	医療介護連携事業(対馬病院へ委託) 医療介護連携事業(対馬病院へ委託)	医療介護連携相談件数	180件	3,790件 (2105.6%)				